

◆優秀賞◆

ぼくの平塚市の理想図

崇善 小学校 六年

江頭 叶芽

ぼくの理想の平塚市について話したいと思います。

ぼくは環境問題について本気で考えています。多分大人が思っている以上に考えていると思います。SDGsと世の中は騒いでいるけれど、ぼくができるゴミ拾い活動も本当に小さなことです。小さなことの積み重ねは大切だけれど、グループ、学校、市として大きな目標を立てて全国でも理想とされる市を目指したいです。

まず一つ目は給食の食べ残し。給食の食べ残しをゼロにするのは不可能に近いのです。でも、その食べ残しを無駄にしないために、全ての学校に業務用生ごみ処理機を設置します。そしてできた肥料は地域の農家に配ったり、平塚市が誇るベルマーレの畑を作りみんなで野菜を栽培し選手の栄養を平塚市民で支えます。なぜこんなことを思いついたかと言うと学校の授業で地産地消の勉強をしました。でも、意味はわかるけれど、スーパーに行けば平塚市のお野菜が並んでいるわけではないし、学校の教科書で習っているもぼくたちは地産地消ができていないのではないかと思ったりからです。だからぼくたちがお手本になって地産地消を体験して全国のお手本になりたいのです。

二つ目は学校で使うものについてです。ぼくの家には使っていない算数セット、アサガオの鉢などがあります。学校で使うかもしれないので保管

するようにと言われたけれど、多分二年生の後半位から使っていないような気がします。ではぼくが卒業するまでに使うかと言うと多分使わないような気がします。その他にもきつと中学生になったらお道具箱や鍵盤ハーモニカも使わなくなってしまいそうな気がします。だから物を大切に使うて、どこの学校でも学校で使えるものは下級生に使ってもらえるように仕組みを作ったら、お父さんやお母さんの負担も減るし、余計なごみも出ないし、学校でも先生の集金作業も減ると思うからです。

三つ目はランドセルです。ぼくの登校班のお友達はお兄ちゃんが使っていたランドセルを大切に使って今一年目だそうです。ぼくは一人っ子なので兄弟に譲ったりできないけれど、ぼくのお友達のお弟や妹にぼくの洋服を譲るみたいに、ランドセルも誰かに使ってもらえるような仕組みを作ってほしいです。最近テレビでフランスの人がランドセルを使っていました。日本のランドセルは丈夫だし、子供が使わなくても世界で使われることでランドセルを捨てないで次の人に使ってもらえるからです。

これがぼくの理想とする環境活動です。

これが実現できたらきつと環境都市一番の平塚市になると思います。